

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 24 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		西部清掃工場跡地維持管理事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	市民部	課長名 松永 公明
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	環境衛生課	担当者名 中村 慎也
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	環境衛生班	(内線) 1143
予算科目		会計 1	款 4	項 2	目 1	事業連番 11352	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 H20 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		成果優先度評価結果	9
						コスト削減優先度評価結果	6-18
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							
【事業の内容】 西部清掃工場跡地の維持管理業務(1.6ha)							
【業務の流れ】 除草委託の見積り徴収、委託契約、完了検査、支払							
【主な予算費目】 委託料							

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 除草作業を職員で実施(1回/年)、面積1.6ha	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 年3回の除草委託、面積1.6ha
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 西部清掃工場跡地 周辺農地	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 除草回数 回 イ 除草面積 ha
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 美観を保つ 種、虫の飛散による害から守れる	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 面積 ha イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 快適な住環境で暮らすことができる 目的に沿って適正に管理され、有効に活用されている	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 除草し、美観を保った面積 ha イ 周辺農地からの苦情の件数 件
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 苦情の件数とその対応率 % イ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0  0
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計		千円	0	0	0	138	300	300	
	うち指定経費		千円							
	うち時間外、特殊勤務手当		千円							
	人件費	正規職員従事人数	人			5	3	3	3	
		延べ業務時間	時間			48	32	32	32	
(B)人件費計		千円	0	0	0	191	127	127		
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	191	265	427	427	

活動指標	ア 回 イ ha				1 1.6	3 1.6	3 1.6	3 1.6	3 1.6	目 標 合 計 数 計 値 画  22 年 度
対象指標	ア ha イ				1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	
成果指標	ア ha イ 件				1.6 0	1.6 0	1.6 0	1.6 0	1.6 0	
上位成果指標	ア % イ				100	100	100	100	0	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
平成19年10月に所有していた菊池環境保全組合から西部清掃工場を無償譲与され、平成20年度から環境衛生課で維持管理するようになった。平成20年度は職員で除草を行ったが、面積が広く職員では対応が困難なため

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
跡地の利用について検討する必要がある。(現在のところ、災害発生時の廃棄物の仮置き場として利用する予定である)

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
周辺の住民から、除草してほしいという要望があがっている  
地元からリサイクルセンターを作ってはどうかという声があがっている  
地元住民からは、無償譲渡してもらえないかとの要望を聞いている

事務事業名	西部清掃工場跡地維持管理事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 意図の「美観を保つ、種、虫の飛散による害から守られる」ことで、結果の「快適な住環境で暮らすことができる」には、周辺に住宅もなく直接結びつかないが広い意味で快適な住環境で暮らすことが出来ることに少しは結びつく。むしろ基本事業の「公有財産の管理運営」の「目的に沿って適正に活用されている」ことにより結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市有財産の維持管理業務であり妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 市有財産の維持管理業務であるため対象は、「西部清掃工場跡地」、意図を「美観を保つ」とした。周辺に害を及ぼす恐れがあるので、対象を「周辺農地」、意図を「種、虫の飛散による害から守る」とした。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 毎年、除草作業は必要である。周辺が農地であり環境面からも薬剤による除草はできない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 美観を保てなくなる。 周辺農地への影響が出る。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他の市有財産の維持管理事業とまとめて実施することができる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費の算定に当たっては、シルバー人材センターの活用を想定しており、単価についても安価に積算している。他の市有財産の維持管理事業とまとめて実施することで、削減の余地はある。また、貸付等ができれば削減できる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 定型業務なので工夫の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 私有財産の維持管理業務であり公平である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、周辺に住宅もなく直接結びつかない点もあり見直し余地あり。 ②有効性については、他の市有財産の維持管理事業とまとめて実施するなど見直し余地あり。 ③効率性については、跡地の利用について貸付等見直し余地あり。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 他の市有財産の維持管理事業とまとめて実施することで、削減の余地はある。また、跡地の利用について貸付等検討する。 施策を「行財政改革の推進」、基本事業を「公有財産の管理運営」に移行することを検討する。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上	○																					
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
跡地の利用について、地元住民からリサイクルセンターの建設や無償譲渡してもらえないかなどの要望があるが、現在のところ災害発生時の廃棄物の仮置き場として利用する予定である。  
現況は広大な土地を空地として維持管理する状況にあり、有効的、効率的な利用手段を早急に検討する必要がある。  
施策を「行財政改革の推進」、基本事業を「公有財産の管理運営」に移行することを検討する。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	9	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )